

令和 6 年度(2024 年度)高校講座実施報告
(11 月分)

●島根県 県立出雲高等学校(令和 6 年 11 月 6 日)

講演テーマ: 外務省の仕事について

講師: 国際法局 経済紛争処理課 近藤僚子 課長補佐



●島根県 私立開星中学校・高等学校(令和 6 年 11 月 7 日)

講演テーマ: 外務省の仕事について

講師: 国際法局 経済紛争処理課 近藤僚子 課長補佐



●秋田県 県立横手城南高等学校(令和6年11月7日)

講演テーマ: 外交について

講師: 領事局 旅券課 佐々木仁貴 課長補佐



●長崎県 私立青雲高等学校(令和6年12月12日)

講演テーマ: 「核兵器のない世界」に向けた日本の取組

講師: 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課 齋藤翼 首席事務官



●長崎県 私立長崎日本大学高等学校(令和6年11月13日)

講演テーマ:「核兵器のない世界」に向けた日本の取組

講師: 軍縮不拡散・科学部 軍備管理軍縮課 齋藤翼 首席事務官



●奈良県 私立奈良育英高等学校(令和6年11月13日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際法局 経済紛争処理課 篠原翔吾 主査



●滋賀県 私立光泉 カトリック高等学校(令和6年11月14日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際法局 経済紛争処理課 篠原翔吾 主査



●福岡県 県立北筑高等学校(令和6年11月14日)

講演テーマ: 国際派日本人養成講座 入門編

講師: 大臣官房 在外公館課 小林龍一郎 現地職員管理官



●福岡県 私立明光学園高等学校(令和6年11月15日)

講演テーマ: 国際派日本人養成講座 入門編

講師: 大臣官房 在外公館課 小林龍一郎 現地職員管理官



●福井県 県立足羽高等学校(令和6年11月18日)

講演テーマ: 外交と宇宙

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 岡崎淳 主査



●福井県 県立大野高等学校(令和6年11月19日)

講演テーマ: 外交と宇宙

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 岡崎淳 主査



●鹿児島県 私立鳳凰高等学校(令和6年11月20日)

講演テーマ: 外務省のお仕事

講師: 大臣官房 国際報道官室 中島優子 事務官



●鹿児島県 県立加世田高等学校(令和6年11月21日)

講演テーマ: 外務省のお仕事

講師: 大臣官房 国際報道官室 中島優子 事務官



●岐阜県 県立大垣南高等学校(令和6年11月25日)

講演テーマ: 外務省と外交官の仕事

講師: 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課 淡川貴夫 課長補佐



●鳥取県 私立湯梨浜学園中学・高等学校(令和6年11月26日)

講演テーマ: 外交

講師: 領事局 旅券課 有馬純枝 課長補佐



参加者からの感想(抜粋)

- 外務省員が、日本の外交の最前線で働き、日本や日本国民の利益を守るために仕事をしていることや、国際協力、国際交流など外交活動の一端を担うような個人や団体の活動も積極的に支援しているということが分かった。
- 外務省は国の顔として他国と関わり、日本の政策や文化などを相手国に伝えることで国と国をつなぎ、お互いの国が平等に利益を得られるように協力することが重要な仕事だと思った。
- 「外交」とは、「諸外国との交流を深めること」ばかりだと思っていたが、「日本の安全や繁栄の確保」など多くのことがあるのだと知り、印象が変わった。
- 核兵器をなくすために日本がリーダーとなって働きかけっていると知った。自分たちは核の被害を受けたことのない世代であるが、これまでの活動や思いを受け継いでいくことが大事だと思った。
- 平和活動を通して得た知識がさらに新しい知識と繋がった。核兵器が世界から完全になくなるというのは難しいかもしれないが、それを目指して行動していくことが、抑止力になっているのだと思った。
- 多忙な業務や危険度の高い仕事の話聞いてもなお、外交官の仕事をしてみたいと、自分の夢への意思を再確認できるよい機会でもあった。今回の講演で吸収したことをこれからの人生に活かしていきたい。

- 世界はすごく広くて自分が知らないところでも私達と同じように生活している人がいるけど、住む国や地域の環境によっては文化や生活の豊かさが違うことを認識した。考え方や捉え方などの価値観が異なる人とも付き合うことのできる国際的な人になりたい。
- 「自分を大切にすることから」という言葉はとても心に響いた。自分を大切にできないと、他人にも優しくできないし、これからの人生も楽しくないなと感じた。今回の講演でポジティブに考えることが大切だなと思った。
- 日本や日本国民の平和と安定を維持するために私も中央官庁や世界の様々な国で働いて、世界で問題視されている事柄の解決をしてみたい。そのために、今は高校の勉強を真剣に行い、特に英語を話す、聞く、読めるように努力したいと思う。
- 在外公館勤務時の新型コロナウイルスの蔓延や軍事クーデター発生の際の現地の状況がとても印象的だった。私も「直感 is important」を大事に生きていきたい。

